「第 47 回全国サイクリングクラブラリー in いわき」お奨めコース

資料提供：いわきサイクリングクラブ 大楽様
ヨコハマミナトサイクリングクラブ 会員一同

ツーリング出発到着地を JR 常磐線泉駅や湯本駅などに設ければ、駅のコインロッカーを利用して輪行袋など不要な手荷物を収納できます。どうぞ身軽になってサイクリングをお楽しみください。

推奨コースの多くは、宿泊地の「新舞子ハイツ」を目指しております。もちろん出発地と到着地を逆にする案もお奨めです。前泊、後泊を組み合わせれば、いわきと周辺地域を時間的、空間的にご堪能いただくことができると存じます。

いずれのコースも「ルートラボ」上に地図や距離、標高差など詳細情報を掲載してございます。各コース記載の URL にアクセスしてみてください。

推奨コースを下記にご紹介いたします。これから開催日までみなさまのコース立案のご参考になれば幸いに思います。

お奨めコースその 1.　　市内編

ＪＲ常磐線湯本駅 ⇒ みろく沢炭鉱資料館 ⇒ 白水阿弥陀堂 ⇒ 夏井川サイクリング道路 ⇒ 河口から海岸沿い ⇒ 新舞子ハイツ　　走行約 25km

参照：ルートラボ「湯本駅～阿弥陀堂～新舞子ハイツ」http://yahoo.jp/-UXYZ9

常磐湯本駅から国宝白水阿弥陀堂を巡り、新舞子ハイツへ向かうルートです。「みろく沢炭坑資料館」もコースに加えました。

当地いわき市は、ご承知の通り「常磐炭田」の炭坑の町として明治から昭和にかけて栄えました。石炭需要の衰退と共に姿を変え、現在は東北のハワイ・常磐湯本温泉として、また小名浜港は東北屈指の国際港として現在の町並みを形づくっております。コース途中には「鶴の足湯」や「さはこの湯（共同浴場）」などがございます。スタートしてすぐですので、ご覧いただく程度になるかとも思います。みろく沢炭坑資料館は、こじんまりした施設ですが当時の炭坑を偲ばせる施設です。（見学無料）

お奨めコースその 2.　　市内編

新舞子浜ハイツ ⇒ 賢沼 ⇒ 塩屋崎灯台 ⇒ 小名浜「アクアマリンふくしま」、「いわき ら･ら･ミュウ」⇒ JR泉駅　　走行約 23km

参照：ルートラボ「新舞子ハイツ～灯台～アクア～泉駅」
http://yahoo.jp/8OoDXO

新舞子ハイツ泊後（翌日）のコースです。「賢沼」（大ウナギ生息地）とマリンタワーにも立ち寄ります。また塩屋崎灯台は階段が少々きついですが、昇っていくと見学料 200 円で灯台内部に入れます。

賢沼～灯台～マリンタワー間では、震災の津波による被災地区を通過します。現在は復興工事の進捗により、災害の爪痕はずいぶん薄くなっております。

マリンタワーからは小名浜港の全貌をご覧いただけます。現在港の中央部に人工島を作り、フェリーやコンテナ船の発着量を増やす工事が行われております。時間が許すようであれば、「ら・らミュウ」（商業施設）、「アクアマリンふくしま（水族館）」などもお楽しみ下さい。

お奨めコースその 3.　　市内編

ＪＲ常磐線泉駅 ⇒ 中釜戸シダレモミジ ⇒ 白水阿弥陀堂 ⇒ 大國魂神社 ⇒ 新舞子ハイツ　　走行約 40km

参照：ルートラボ「泉駅～中釜戸～阿弥陀堂～新舞子ハイツ」
http://yahoo.jp/VE0XWH

泉駅をスタートし、国の天然記念物「中釜戸のシダレモミジ」に立ち寄ります。以下 1 コース目と同じルートをたどり、平市街を抜けて大国魂神社に立ち寄るコースです。1 コース目で距離の不足をお感じの場合はご参考にしてください。

お薦めコースその 4.　　市内編

ＪＲ常磐線泉駅 ⇒ ほるる（旧・石炭化石館） ⇒ みろく沢炭鉱資料館 ⇒ 白水阿弥陀堂 ⇒ 大國魂神社 ⇒ 新舞子ハイツ　　走行約 33km

参照：ルートラボ「泉駅～ほるる～みろく沢～白水～大國魂～ハイツ」
http://yahoo.jp/Hqhfbv

一部国道 6 号線を走行しますが、比較的交通量の少ない区間ですのでさほどの心配はないかと思います。

お奨めコース 5.　　長距離編

ＪＲ水郡線磐城塙（いわきはなわ）駅 ⇒ 鮫川村・古殿町 ⇒ 阿武隈高地 ⇒ 御斎所街道 ⇒いわき市　⇒　新舞子ハイツ　　走行約 75km

参照：ルートラボ「御斎所街道コース」　http://yahoo.jp/tQw96g

JR 水郡線 磐城塙駅より阿武隈高地を進む峠越えの行程です。御斉所街道を経ていわき湯本から新舞子ハイツへ向かいます。磐城塙駅よりの約 20km 間は、標高 200m から同 595m までの上り勾配を、最高地点からは約 15km 間の豪快なダウンヒルをお楽しみください。下り坂の速度超過にはお気をつけください、安全走行に徹してくださいね。

お奨めコース 6.　　長距離編

ＪＲ水郡線磐城石川駅 ⇒ 平田村・小野町 ⇒ 阿武隈高地 ⇒ 磐城街道 ⇒ いわき市 ⇒ 新舞子ハイツ　　走行約 80km

参照：ルートラボ「磐城街道コース」　http://yahoo.jp/oC_cyd

JR 水郡線磐城石川駅より走り出し、阿武隈高地の峠越えに約 40km 走行すると JR 磐越東線（ゆうゆうあぶくまライン）に接します。線路沿いに小川郷駅まで行き、いわき市郊外を巻くようにして新舞子ハイツに至ります。最高地点の海抜約 530m からは、下り勾配が約 20km 間も続く趣あるコースですが、一部区間は道幅が狭く、線路沿いは踏切が多いので走行にはお気をつけください。

お奨めコース 7.　　長距離編

ＪＲ常磐線日立駅 ⇒ 五浦（いづら）温泉・六角堂 ⇒ 平潟温泉 ⇒ 勿来の関 ⇒ 陸前浜街道 ⇒ 新舞子ハイツ　　走行約 71km

参照：ルートラボ「五浦温泉・平潟温泉・勿来の関コース」
http://yahoo.jp/Axlp29

福島県境に近い茨城県JR常磐線日立駅より出発し新舞子ハイツに至ります。見どころはいわき市の史跡「勿来（なこそ）の関」です。この地は古来から東北の玄関口として知られてきました。和泉式部、源義家、小野小町、芭蕉など歴史上に名高い人々が勿来の関を詩歌に詠んでいます。

勿来の関公園内「詩歌の小径」には、勿来の関にちなんで詠まれた歌などの碑が並びます。歴史の舞台は違えども、いろいろな人が勿来の関をどのように捉えていたのかがよく解りとても興味深いです。

参考：勿来の関公園「詩歌の小径」碑散策マップ
http://www.iwakicity-park.or.jp/bungakurekishikan/shiikakomichi.html
「2016 全国サイクリングクラブラリーin いわき」お奨めコースご紹介、以上